

もっと清水が好きになる。

しみずの風

2019

8

No.550



特集

第47回通常総代会

農協の原点に戻る改革を推進

食への意識に変化 地元の食材応援したい

グローイング フェイス

Glowing Face

いま、清水で
輝いている人たち

河田 雅子さん(43)

女性大学
「ハーベストカレッジ」卒業生



かわた まさこ／三重県伊勢市出身。2015年4月に静岡市清水区へ転入して、講座に参加。

初めての土地で、初めての体験
講座のおかげで友だちができた



清水区に住む20〜40代の女性を対象にした「ハーベストカレッジ」は、毎月1回、農産物の収穫や料理教室など、多彩な講座が体験できるカルチャー教室。農業やJAに親しんでほしいと2014年にJAが開講し、2年を1期として毎月異なるカリキュラムが組まれている。

河田雅子さんは、生まれ育った三重県から清水区に転入。2015年9月から2017年7月まで、2期生として受講した。転入して間もないころに募集を知り「知り合いもいなかったの
で、清水のことを知るいい機会と参加したという。

「この講座もとても楽しく、あつとい

う間の2年間でした。ガーベラやミカンの収穫、柑橘共選場やお茶工場の見学など、初めて見ることはかなりで感動でした！遠足では、小島や由比・蒲原へ出かけ、地元ではないので初めての場所に行くことができて、楽しかったです。

メンバーとは受講中に仲良くなり、卒業後も年に数回、自分たちで講座を企画して楽しんでいる。

「教わった手作りみそがおいしくて、毎年みんなと作っています。講座のおかげで友だちができ、一人ではできないことも挑戦できて感謝しています。」

6月には、清水産の花でアレンジメントを作った。ほかにキムチ作り、そば打ち、イチゴ狩りなど、やりたいことを相談



おいしく入れるポイントを教わり、お茶の入れ方をマスター



塩、大豆、米麹だけで作る無添加のみそ作り



■ 1〜3期の卒業生が集まって開いたフラワーアレンジメント講座



■ 加瀬沢地区でトウモロコシを収穫。採れたてを味わいました

しながら、準備のために集まったり、講座以外でも連絡を取り合ってお出掛けたりと、親密な付き合いが続いている。

「講座に参加してから、食の安全や手作りの良さを意識するようになり、地元の食材を大事にするようになったと思います」。

講座を通じて知ったアンテナショップ「きらり」は、お気に入りのお店。

「実家や友だちへのプレゼントに清水産の農産物を購入したり、きらりのイベントにもよく出掛けます。キャラクターもかわいくて、大好きです」。

清水へ来る前は幼稚園の教諭だったという河田さん。人懐こい笑顔と、温かみある伊勢の方言を交えながら、講座の思い出や魅力を話してくれた。

ほしののし

2019
8
No.550



スマートフォン、タブレット、パソコンから記事の一部が動画でご覧になれます。

C O N T E N T S

- 2 Glowing Face
河田 雅子さん
- 4 特集／第47回通常総代会
- 8 TOPICS
- 10 チャレンジ家庭菜園
「リーフレタス」
- 12 9月の営農ワンポイント
- 15 遠山由美のこだわりレシピ
「冷やし夏野菜おでん」
- 16 とともに拓こう、協同が輝く時代
農家とともに
～農家所得向上を目指すアンテナショップきらり～
- 17 アーカイブしみず
- 18 Information
- 20 ワンパクしみずっ子
「みどりが丘こども園」



本誌で紹介できなかった記事やお得情報を発信しています!



スマートフォン、タブレット、パソコンからご覧になれます。



第47回通常総代会

農協の原点に戻る改革を推進

第47回JAしみず通常総代会を6月26日に静岡市清水文化会館マリナーで開き、総代定数500人のうち477人(本人出席327、書面出席150人)が出席しました。2019年度の事業計画を含む全8議案と附帯決議案が承認されました。



組合長のあいさつ



代表理事組合長
柴田 篤郎

農協改革は、農協の本質に戻ることだと私は理解しています。今年、「しみずみらい応援団」を立ち上げ、農協が買い取り販売する農産物売り上げの一部を「あしなが育英会」へ寄付する仕組みを作りました。農業者の収益を最大限に上げることが一番に考え、営農部門の経費圧縮だけでなく、収益を伸ばすことで赤字を縮小していきます。

地元業者とも連携し、農産加工品の買い取り販売の充実に努め、今後引き続き伸ばしていきます。

2018年度 事業報告

営農経済事業

【営農振興事業】

農家組合員との話し合いを通じた自己改革の実践や買い取り販売の拡充などにより、農家組合員の所得向上に取り組みました。

農家組合員と共に自己改革を実践していくため、農業法人を含む23部会と座談会を開催し、話し合いを通じて要望への対応や事業の改善に繋がりました。買い取り販売の拡充による農家所得の向上を図り、農産物買い取り販売実績は2億180万円、前年対比104%、農家所得向上額3430万円、前年対比145%でした。

地元スーパーマーケットへの少量パックの提案による直接販売の拡大や学校給食への供給などにより、買い取り販売の拡充に取り組みました。

【経済事業】

農業所得向上と利用者満足につながる総合事業に取り組みました。

生産購買事業は、入札方式(農薬281品目)・他JAとの共同仕入れ(農薬20品目)、仕入先の新規開拓など仕入強化に取り組みました。グリーンセンターは、直売スペースの拡充による商品の充実をはかり、「選ばれた店舗」づくりに取り組みました(売上前年対比103.82%)。



■清水区吉原から望む畑総梅島地区

写真で見る2018年度事業



マックスバリュエクスプレス清水駅前店が4月6日にオープンし、清水産農産物を販売するインショップや、直売コーナーが設置されました。



「清水の農産物」キャラクターを描いたラッピングトラック第5弾が完成し、6月20日にJA本店駐車場で納車式を行いました。

信用共済事業

【信用事業】

金融商品とサービス提供の中で「しみずの農業」と「地元農産物」について積極的なPRを対外的に行い、ビジネスマッチングの機会や地域農業の良き理解者づくりに努めました。

【共済事業】

地域密着の事業運営により、組合員・利用者および次世代層に対しても最良のサービスと安心・信頼の保障提供に取り組みました。

ペーパーレス・キャッシュレスなどの新事務手続きの定着・浸透に取り組み、組合員・利用者の利便性向上および事務負担を大幅に削減しました。

その他事業

【農地整備事業】

畑地帯総合整備事業「茂畑地区」ほか2地区で農地基盤整備と担い手への農地集積に取り組みました。（事業進捗率：茂畑地区98%、加瀬沢地区98%、矢部地区91%）

農業農村整備の新規事業は、各地区で事業化に向けた検討を継続し、樹園地再編整備事業「梅島用水地区」、集落基盤整備・再編事業（集落道整備）「庵原地区」は事業に着手しました。

【不動産事業】

支店との連携による財産診断を行い、資産を次代につなぐ相続相談の強化と資産活用を提案しました（財産診断：38件、資産活用提案：9件）。

写真で見る2018年度事業



フジエス枝豆委員会GAP研究会は9月28日、国際的に通用する農業生産工程管理(GAP)のアジア版「AS1AGAP Ver.1」を取得しました。



青壮年部は8月2日、放任竹林の竹で作った手作りいかだのレースを興津川で開きました。部員や家族、JA職員、行政など約70人が参加。放任竹林問題への啓発と、部員の親睦を兼ね、初めて開催しました



イチゴ農家にとって負担の大きいパック詰めを請け追うパッケージセンターの本格的な運用を、南部集出荷場で12月中旬から始めました。

信用共済事業

【信用事業】

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の考えに基づき、利用者一人ひとりのニーズを把握し、それぞれの資産形成を意識した金融サービスの提供を行うことで、満足度の充足に取り組みます。

【共済事業】

訪問活動を通じて地域世帯との信頼関係を構築し、組合員・利用者が安心できる保障提供に取り組みます。

その他事業

【農地整備事業】

畑地帯総合整備事業の早期完成と担い手への農地集積を支援します。

【不動産事業】

組合員の状況に応じた相続資産活用を提案し、資産継承を支援します。

【旅行事業】

利用者のニーズをつかみ、安全・安心な旅行プランの提供に取り組みます。

監査・企画・管理部門

組合員から信頼され、地域になくてはならない組織として評価されるJAを確立します。会計監査人監査に対応する適切な内部統制の構築及び運用に取り組みます。

【旅行事業】

安全・安心に配慮した、地域単位の企画旅行を提案実施しました。

監査・企画・管理部門

3か年計画の中間年度として、組合員から信頼されるJAの確立を目指してJA経営の健全性確保に努めるとともに、2011年度に策定した「10年後の将来像」の実現と、自己改革の完遂へ向けて取り組みを強化しました。

【経営管理】

農協改革を改めてJAの活動が「組合員のためになっているか」を考えるチャンスと捉え、組合員との関係強化、事業拡大を目的とした組合員アンケートによる訪問活動を実施し、組合員のJAに対する想いを把握するよう努めました。

【農政対策】

組合員の想いや願いを政策要請等として集約し、市・県・国に対する要請活動に繋がりました。また、行政との協議の場で長年進展がみられない事項についての確認や意見交換を行いました。

2019年度事業計画

協同組織の生き残りをかけた新たな事業運営体制の構築が急務となります。政府の規制改革推進会議による農協改革では、全国のJAの自己改革に向けた取り組みが一定の評価を受ける一方で、今後准組合員の事業利用規制に対する議論が本格化するものと思われれます。

当組合は「農業を主軸とした地域協同組合」の実現に向けた取り組みの総仕上げに努めています。

営農経済事業

【営農振興事業】

「アンテナショップきらり」を基点に農産物の買い取り販売を拡充し、農業所得の向上を図ります。農家組合員の経営規模拡大を可能にするため、パッケージセンターの取り扱い品目や利用生産者の拡大を図ります。

【経済事業】

生産購買事業は、仕入強化(コンペ方式・入札・他JAとの共同仕入れ・仕入先の新規開拓)による生産資材の価格引き下げに取り組みます。また、労力軽減資材・労災防止対策資材の提供により、労働環境改善に取り組みます。

清水地域に建設を予定する、新メモリアルホールの翌年度のオープンに向けて、準備を進めます。



(株)JAしみずサービス
代表取締役社長
前澤 勉



常勤監事
岩崎 行雄



常務理事
山口 肇



常務理事
池田 省一



代表理事専務
小川 通博



写真で見る2018年度事業



9月30日の台風24号で被災した組合員のため、破損した資材を処分するコンテナを南部地域の営農拠点2カ所に設置し、ビニールハウスや温室ガラスなどの産廃物を無料で回収しました。



3月8日に東京で開かれたJA全中通常総会で、2018年度の優良農協として、柴田篤郎組合長が表彰状を受け取りました。

2018年度事業実績および2019年度事業計画

(単位:億円)

区 分		2018年度実績	2019年度計画	
信用事業	貸出金	772.67	777.43	
	貯金	2937.79	2967.20	
共済事業	ひと	生命系長期共済保有高	1835.57	1725.44
		年金共済保有高	31.79	32.42
	いえ	建物更生共済保有高	4949.91	4949.91
		くるま	自動車共済保有高(台)	10471
経済事業 (供給高)	生産購買	14.39	12.83	
	生活購買	5.69	5.15	
	メモリアル(葬祭)	7.03	7.46	
	計	27.12	25.45	
営農振興事業 (販売高)	みかん	11.54	12.80	
	中晩柑	3.78	3.70	
	荒茶	2.58	2.70	
	生葉	0.91	1.00	
	花卉	3.28	3.45	
	枝豆	2.72	2.75	
	いちご	3.20	3.25	
	トマト	1.30	1.25	
	その他	4.29	4.47	
	仕上茶	1.34	1.49	
	農産物買取販売	2.01	2.19	
	グリーンセンター直売	1.91	1.98	
	(株)ジェイエイしみずサービス直売	2.47	2.72	
計	41.39	43.76		
その他事業 (取扱額)	農地整備	7.50	6.34	
	宅地等供給不動産	31.08	29.96	
	旅行	2.17	2.12	

(100万円未満は切り捨て)

2018年度事業総利益および2019年度計画

(単位:億円)

科目	2018年度実績			2019年度計画		
	収益	費用	利益	収益	費用	利益
信用事業	26.53	6.68	19.84	24.51	6.27	18.24
共済事業	11.31	0.57	10.73	11.02	0.64	10.38
購買事業	27.66	22.93	4.72	25.90	20.82	5.08
販売事業	6.77	4.57	2.19	7.21	4.92	2.28
利用事業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
宅地等供給事業	1.08	0.07	1.00	1.07	0.08	0.98
農用地利用調整事業	0.07	0.06	0.00	0.06	0.06	0.00
その他事業	1.01	0.29	0.72	0.85	0.23	0.62
指導事業	0.28	0.57	▲0.29	0.24	0.66	▲0.42
計	74.74	35.79	38.94	70.90	33.71	37.18

(100万円未満は切り捨て)

JAしみずが、各地域の活動やイベントなど、さまざまな話題を独自に取材し、ご紹介いたします。

JAしみずハウスミカン部会

とろけるような清水産ハウスミカン出荷スタート



▲初出荷したハウスミカンを確認する生産者(左)とJA担当者

中元や盆など贈答品の需要が高まる時期を前に、清水区で栽培する今年産ハウスミカンの出荷が6月27日、JA柑橘共選場でスタートしました。

JAハウスミカン部会の生産者2人が鮮やかに色づいた「宮川早生」約600kgを持ち込み、従業員による手作業や光センサー選果機で着色や糖度、酸度などを選別。5kg段ボール箱に詰め、市内の市場などへ出荷しました。

清水産ハウスミカンは、限界まで水分を抑えた管理で栽培するため、果実の大きさは5～6cmとやや小ぶりですが、完熟で収穫し、糖度は13前後。味にこだわった栽培をしています。



▲みずみずしくて濃厚なとろける甘さの清水産ハウスミカン

同部会の井上剛之部会長は「今年産も甘みと酸味のバランスが非常に良いハウスミカンを収穫することができた」と期待に胸を膨らませていました。

当JA管内では7戸が104a栽培し、8月中旬まで約40tを出荷する予定。JAアンテナショップきらりや市内のスーパーマーケットなどで販売しています。

ジューシーでさわやかな初夏の味 露地プラム本格出荷スタート

JA集出荷センターで6月7日、初夏の果物、露地スモモ「大石早生」の本格出荷が始まりました。JAプラム部会員やJA担当職員など約15人が色づきや大きさ、傷の具合など出荷基準を確認する目ぞろえ会を開き、東京と静岡市内の市場に出荷しました。

「大石早生」は果肉が淡い黄色でやわらかく、食べるにジューシーでさわやかな甘酸っぱさが特徴。6月下旬からは「ソルダム」、7月上旬からは「太陽」と品種を替えながら8月上旬まで出荷されます。

同部会では12人が3haで栽培。本年産は約30tの出荷を見込み、JAアンテナショップきらりや市内スーパーマーケットで販売されます。



▲色づきや大きさ、傷など出荷基準を確認するプラム部会員



JA静岡女性協 設立70周年記念事業 県内JA女性部員が交流深める

JA静岡女性組織協議会は、全国に先駆け1949年に発足した同協議会の設立70周年記念事業として、豪華客船「ぱしふいっくびいなす」によるチャータークルーズを実施しました。約500人の県内女性部員たちが参加し、6月11～14日の船旅で交流を深めました。清水港を出港後、宮崎県の細島港に寄航、瀬戸内海を経由して帰港しました。

当JAの赤堀岳子女性部長は、「清水からは30人が参加。県内女性部員が一堂に会したことで、船内生活を楽しめ、多くの部員と有意義な交流ができた。この経験を今後の女性部活動に生かしたい」と話していました。



▲県内JA女性部員と有意義な交流をした当JA女性部の参加者



▲園主の山崎さんのサポートでわさびを収穫した受講生

6月19日開催

大人の遠足 清水まるごと探検! 両河内編

6月の講座は、わさびの収穫体験や新茶の試飲などを楽しみました。JA青壮年部両河内支部の山崎貴正さんのガイドで、河内の大石から出発。山道を約40分かけて歩き、わさび田に到着しました。同支部の滝敏弘さんが緑茶、和紅茶、ほうじ茶など冷たい両河内茶をふるまい、受講生は飲み比べをしながら、のどを潤しました。収穫体験では、わさび田に入って葉の付いた立派なわさびを収穫しました。

受講生たちは、「わさびの収穫は、貴重な体験になった」と話していました。



▲冷たい両河内茶でのどを潤した受講生



▲小島支店でくくりわなの講習を受けた、小島地域運営委員会

小島地域運営委員会

農産物直売所視察・くくりわな講習会で課題共有

小島地域運営委員会30人は6月26日、3月に開通した中部横断自動車道を使って、山梨県南部町にある「道の駅なんぶ」の農産物販売所を視察しました。

視察後には小島支店で、小島地域の猟友会による協力で、くくりわなの講習会も行い有害鳥獣対策への意識を高めました。参加者からは、農業の課題や地域の活性化に向けた活発な意見が出され、組合員間での親睦も深めることができ、今後の地域活動につながる視察研修会となりました。

清水庵原小学校3年生

児童たちが茶の手摘みと工場見学

庵原地域の主要な特産物について学んでいる静岡市立清水庵原小学校3年生77人は6月28日、畑総「梅島地区」で茶の手摘み体験や、製茶工場見学、袋づめ作業の体験を行い、茶生産者やJA担当職員がサポートしました。

児童たちは茶生産者から手ほどきを受け、生葉の感触や香りなどを確かめながら摘みとっていました。また、吉原共同製茶工場では、粗揉、揉捻、中揉、精揉など、実際に使われている機械を見学。お茶ができるまでいくつもの工程があり、時間を掛けて丁寧に作られていることを学び、理解を深めていました。



▲製茶工場の見学で熱心にメモをとる清水庵原小学校の児童たち

子どもたちは「お茶は大切に育てられていることや、茶栽培に適した環境があることが分かった」と話していました。

新鮮野菜と楽しいイベントでにぎわい

JA有度農業祭を開催

有度地域運営委員会は6月8日、地域との交流を深めようと「JA有度農業祭」を支店駐車場で開きました。会場では朝市の「有度ふれあい市」のメンバーによる採れたて新鮮な地元農作物や、お茶の試飲販売のほか、JA青壮年部員、JA女性部員による販売ブース、JA職員によるローンの相談ブースも開きました。

また、ミカンジュースの無料配布サービスなども行われ、来場者はお目当ての新鮮野菜や楽しいイベントで、大いににぎわいました。



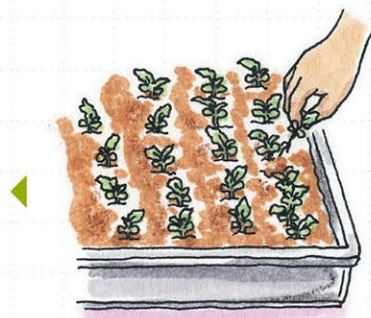
▲大勢の来場者でにぎわったJA有度農業祭

リーフレタスを育てる

リーフレタスはまき時の幅が広く、育ちが早い作物です。さらに、玉レタスと比べると種も発芽しやすいので栽培は簡単です。しかし、酸性土壌にやや弱いので、畑を耕すときには石灰を施すことが大切です。また、レタスは好光性種子といい、光によって発芽が促進される種子なので、覆土は薄くし、込み合わないようには間引き、移植しましょう。各種混合されているミックスの種は色々な種類が味わえるのでおすすめです。



家庭菜園



本葉1枚のころ、葉が
触れ合わないくらいに間引く



種が見えなくなる程度にふるいでごく薄く土をかける



種は5~8mm
間隔にまく

7~8cm

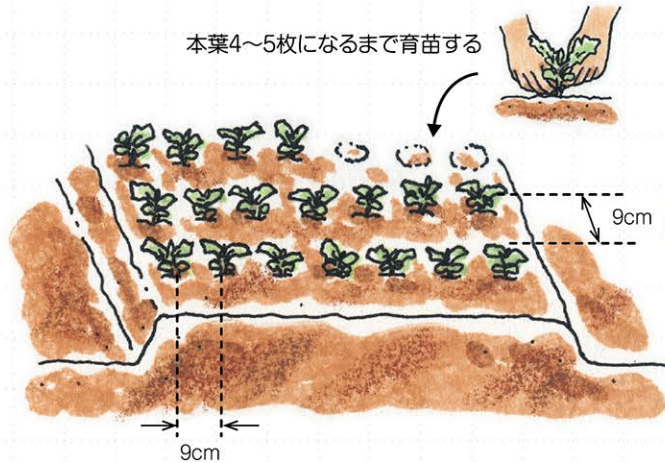
1 苗作り

育苗箱の場合



ポットの場合

少ない本数なら、直径9cmのポリ鉢に4~5粒種まきして、本葉出はじめのころから2~3回間引きし、本葉3~4枚のころ1本立てにして育てる



本葉4~5枚になるまで育苗する



本葉2枚のころ
苗床へ移植する

栽培カレンダー

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
夏まき冬どり栽培					●	◆	—	■				
秋まきトンネル栽培						●	◆	—	■			■

● 種まき ◆ 定植 ■ トンネル被覆 ■ 収穫

グリーンセンター直売

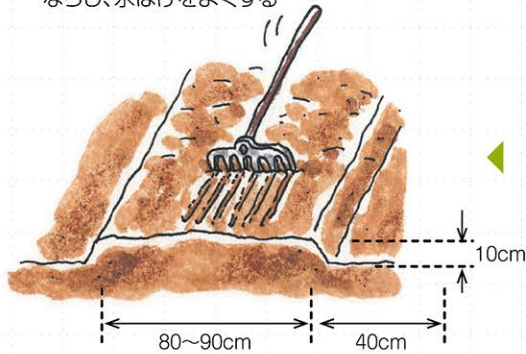
2018年8月の売上ランキング

1位	梨
2位	キュウリ
3位	イチジク
4位	ナス
5位	オクラ



集出荷センター
054-367-6111

ベッドの中央がやや高くなるように丁寧に
ならし、水はけをよくする



2 畑の準備

植え付けの半月くらい前に
完熟堆肥・苦土石灰をまいて
畑をよく耕しておく

4 追肥

有機化成10号



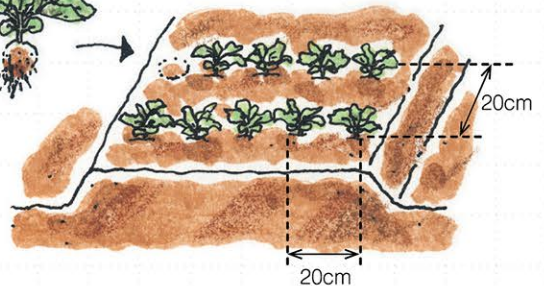
植え付け2~3週間後と、
その半月後の2回、
有機化成10号を施す



株間に肥料をばらまき、竹べらや棒で土に混ぜる

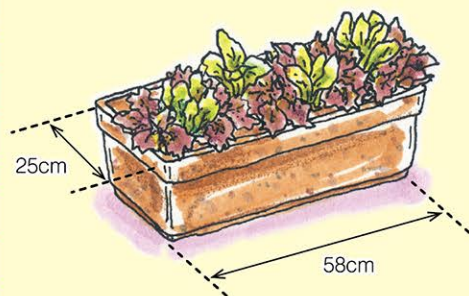
3 植え付け

本葉4~5枚のころ、
畑に植える



プランター栽培

リーフレタスは栽培面積を取らないため、
プランター栽培に最適です



長方形のプランターで赤と緑のリーフレタス
を栽培した例 (10株程度)

いっせい収穫

中のほうの葉が内側に巻き始めたら収穫適
期。葉数は25枚くらいある。収穫は株元か
ら切り取る



サラダ菜



赤ちりめん



ブリーフレタス

かき取り収穫

少量ずつ長期間収穫し続けるには、外側の葉から順次かき取りながら収穫
するとよい

多様な色合いや
歯ざわりが食卓を
にぎわせる



5 収穫

■ 施肥例

施肥量：1坪あたり

種類	施肥量	備考
元肥	苦土石灰	300g 作付け20日前施用
	完熟堆肥	3kg 作付け10~15日前施用
	有機化成10号	300g
追肥	有機化成10号	100g ④追肥の項を参照

上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。

ご注意ください

毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。

※農薬は、ラベルに記載された安全基準を守って使用しましょう。

※ポジティブリスト制度を守り、農薬等の散布には十分注意してください。

■ 病害虫防除

散布量：1畝以内/1坪

病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用日数	使用回数	備考
軟腐病 斑点細菌病	コサイド3000	2,000倍	-	-	散布
アブラムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000~ 3,000倍	収穫3日前まで	2回以内	散布
ヨトウ類 ネキリムシ類	プレバソフフロアブル5	100倍	育苗期後半~ 定植当日	1回以内	※セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌 約1.5~4L) 当たり0.5L
ヨトウ類 ハモグリバエ類		2,000倍	収穫前日まで	3回以内	散布
ナメクジ類	パダンSG水溶剤(劇)	1,500倍	収穫14日前まで	2回以内	散布

※リーフレタスは「非結球レタス」に分類されます。



9月の営農ワンポイント

茶

9月からは、茶の樹の地上部や地下部の成長が活発になり、次年度の一番茶を生育させるための養分蓄積が開始されます。

この時期に、葉層を十分に蓄え、光合成をさせることで、翌年の収量や品質に好影響を与えますので、基本に沿った管理を行ってください。また、下旬には秋整枝が始まりますので、茶園の状況を把握し、計画的に実施してください。

- **病害虫防除** 主に秋芽に対して防除を行う園地としては、秋冬番を摘採する園地や更新園が該当します。秋芽萌芽から開葉期の害虫に注意し、発生確認後速やかに、基準に沿った防除を実施してください。

表① 秋冬番を摘採する茶園・更新園の防除(茶)

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
秋芽開葉期	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホコリダニ チャトゲコナジラミ	ハチハチフロアブル	1,500倍	14日	1回

※ 病害虫発生確認後防除

- **施肥** 秋肥は、越冬芽の充実と翌年一番茶への寄与を図るため秋整枝前に施肥します。冒頭でも述べたように、この時期の養分蓄積が翌年一番茶の収量・品質への寄与率が高いため、基準に沿って確実に実施してください。

表② 施肥(茶)

施肥名	コース名	施肥時期	肥料名	袋数
秋肥	「基本」 「樹上・省力」	秋整枝前(9月)	しみず長効き配合	5袋
	「芽重・良質」	8月中下旬	しみずプレミアム魚配合	5袋
		秋整枝前(9月)	しみずパワフル配合	5袋

10aあたり

- **秋整枝** 秋整枝は、単純に摘採面を均一にする作業ではなく、翌年一番茶の収量構成を担う重要な作業ですので、計画的に実施してください。

- **整枝位置** 秋整枝の位置(深さ)は三番茶の生育状況によって判断してください。

- ① **三番茶の生育が良い場合** 三番茶芽の下位2~3枚目の間で、三番茶の下位から2節残してください。
- ② **三番茶の生育が悪い場合** 三番茶芽の頂芽をできるだけ残し、秋芽のみを除去する程度の浅い整枝とし、次年度の有効芽を確保してください。
- ③ **更新園の場合** 更新後の再生枝の下位から2節を残して秋整枝を行います。7月に整枝をした場合は、その後出てきた芽を2節残します。

- **清水の芽重型茶園の秋整枝**

清水の芽重型茶園の認定要件は、原則「年間成長量15cm以上」です。

年間成長量とは葉層とは異なり「前年の秋整枝位置」から「本年の秋整枝位置」までの長さ、更新園では「本年更新位置」から「本年秋整枝」までの長さですので、年間成長量を確保するために整枝前の位置確認を必ず行ってください。

更新園や芽重型茶園など、徒長している茶園では、日焼け防止のため、2回に分けて秋整枝を実施します。1回目の整枝は、本整枝の7日前を目安に、本整枝位置より3節上で実施します。

- **秋整枝の時期**

気温の推移を正確に予測することは困難ですが、気象予報に留意するとともに、園地の場所による差にも配慮し、平均気温が19~20℃になったころを実施の目安にしてください。また、芽重型茶園では越冬芽の生育が早いので、若干遅めの整枝を行うことが理想的です。ただし、余りに遅すぎると、越冬芽の形成が遅れ一番茶に影響が及びますので、遅くとも10月中旬までに実施してください。



柑橘

● 病害虫防除

表①を参考に防除してください。極早生は、収穫前日数に注意が必要です。また、ポンカンおよびはるみは、ベンコゼブ水和剤の収穫前日数90日に注意してください。秋のミカンハダニの被害は品質低下につながるため、適期防除を心掛けてください。

表① 病害虫防除 (柑橘)

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}	茶登録
温州ミカン ^{※3} ※4	8月下旬～	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル ^{※2}	2,000倍	21日～2回	○
		ミカンハダニ	ダブルフェースフロアブル	3,000倍	前日～1回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日～4回	×
中晩柑 ^{※5}	9月上旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル ^{※2}	2,000倍	21日～2回	○
		ミカンハダニ	ダブルフェースフロアブル	3,000倍	前日～1回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	90日～4回	×

※1 使用基準は「収穫前日数×散布回数」をあらわす。

※2 キラップフロアブルについては、着色期以降に使用すると葉害が発生する恐れがあるため、使用しない。

※3 9月防除以降カメムシが発生した場合には、ロディー乳剤(劇)2,000倍(7日-4回)を散布する。

※4 後期黒点病感染が懸念される場合は、ベンコゼブ水和剤を使用基準に注意して散布する。

※5 台風襲来によりかきよう病の多発が予想される場合は、クレフノン200倍加用、ムッシュポルドーDF1,000倍(-)を台風襲来前に散布する。

～その他共通注意点～ 9月防除以降、チャノキイロアザミウマ多発園やハマキムシ発生園では、ディアナWDG10,000倍(前日・2回)を散布する。

● 管理作業

表②を参考に摘果してください。青島温州は9月以降が後期摘果の時期となります。果皮がなめらかになったころに摘果することにより、無摘果に比べ糖度が上昇する傾向があります。増糖効果を得るためにも、極小果、内・裾なり果、傷果、腰高果などを中心に1本の樹を短時間で摘果し、葉果比を25枚に1果まで近づけてください。

著しく着果量が少ない樹は、収穫前の樹上選果で対応してください。

表② 摘果 (柑橘)

品目	摘果する果実	残す果実	摘果終了時期目安	最終適正葉果比
青島温州	内・裾なり果、極小果、著しい外観不良果	外なり果、少々の外観不良果、軸太果、天なり果、極大玉果 [※]	10月中旬まで	25枚に1果
太田ポンカン	直花果、短い有葉果、樹上1/3全摘果(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	外周部の有葉果 10cm以上で5枚程度の果梗枝の細い有葉果	9月上旬まで	100～120枚に1果

※軸太果、天なり果、極大玉果、外観不良果は10月下旬以降の樹上選果で摘果する。

表③を参考に中晩柑類に初秋肥を施用してください。

表③ 施肥 (柑橘)

品目	施用時期	肥料名	10aあたりの 施用量
はるみ・不知火・清見	9月上旬	かんたくんBB	2袋
甘夏・スルガエレガント			3袋



落葉果樹

● 病害虫防除

薬剤散布に加え、園内清掃に努めることで、本年および翌年の病害虫防除となります。

特にイチジクの黒かび病発病果は媒介昆虫を誘引し、二次伝染病となるため早期に除去し、処分してください。梨の黒星病が発生した葉は落葉、地表面で越冬し、翌年の発生源となるため注意が必要です。

表④ 病害虫防除 (落葉果樹)

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用基準 ^{※1}
イチジク	9月下旬	さび病・疫病	アミスター10フロアブル	1,000倍	前日～3回
柿(次郎、四ツ溝)	9月上旬	うどんこ病・炭そ病	ストロビードライフロアブル	3,000倍	14日～3回
梨(幸水、豊水)	9月中旬	黒星病	キノンドーフロアブルまたはドキリンフロアブル	1,000倍	3日～9回
キウイフルーツ(ハイワード)	9月上旬	果実軟腐病	ヘルコート水和剤	1,000倍	前日～5回
	9月下旬	クワシロカイガラムシ	アブロード水和剤	1,000倍	前日～2回
キウイフルーツ(レインボーレッド)	9月中旬	貯蔵病害(灰色かび病)	ストロビードライフロアブル	2,000倍	前日～3回
		クワシロカイガラムシ	アブロード水和剤	1,000倍	前日～2回

※1 使用基準は「収穫前日数×散布回数」をあらわす。

※2 天気と害虫の発生状況に応じて、散布時期を調整すること。

● 管理作業

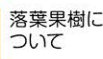
イチジクは収穫期のため、継続的な施肥を行ってください。

収穫を終えた品目は、翌年に向けた樹勢回復のために必ず礼肥を施用してください。

台風シーズンのため落葉、落果防止のため台風対策を行ってください。

表⑤ 施肥 (落葉果樹)

品目	施用時期	肥料名	10aあたりの 施用量
イチジク	9月上旬	粒状固形30号小粒	1.5袋
	9月下旬		
梨	収穫後	有機化成10号	3袋



花卉



●バラ

4月に改植した品種は、通常9月の上旬から採花のピークを迎えます(アーチング栽培の場合は、早ければ7月上旬から)。本格的な出荷が始まる時期となりますから、評価を下げないために、既存品種はもちろん、新規導入品種も品質を重視した選別を行いましょう。気温の低下を見て、通常の防除にベト病の予防剤を加えて散布しましょう。また、弱っている株にはソフトピンチを行い、樹勢をつけましょう。

●洋ラン類の栽培管理

9月になると西日が強くなるので、葉焼けを防ぐため、ハウスサイドにも遮光を行うようにしましょう。



●オンシジウム

開花間近の株はバルブからの水分利用が多くなるので、かん水量をやや多めにしましょう。また、ヨトウムシやナメクジによる花芽の食害が増加するので、早めに防除しましょう。

●シンビジウム

施設内の乾燥が続くとハダニが多発し、蕾が被害に遭うと開花後にリップ部分に変色してしまいます。発生状況を見極めて、薬剤散布を徹底しましょう。

イチゴ



●育苗管理

ランナー切り離し後のポット苗の管理が大変重要です。葉が込み合うようならポット間隔を広げましょう。また、硝酸態窒素濃度を測定(特にきらび香は、葉色では判断できないことが多い)し、必要に応じて液肥を葉面散布して苗質をそろえましょう。

病害虫は本圃に持ち込んでしまうとその後防除が非常に困難です。特にうどんこ病・ハダニは、育苗段階から定期的な防除を行い、予防に努めてください。また、炭そ病は定植後散布できる薬剤が極端に減るため、育苗期間の防除が重要となります。

●定植

定植が早すぎても遅すぎても、収量の減少が心配されるため、検鏡により花芽分化を確認します。確認後は定植作業を速やかに行いましょう。

ただし、9月は気象条件により、計画的な定植が難しい時期でもあります。定植が遅れる場合には苗に液肥を施用するなど、老化防止に努めましょう。

●活着促進

スムーズな活着が花芽を順調に生育させ、収量を安定させることにつながります。定植後一週間程度は株元(クラウン部分の回りの土)が湿るように手かん水を行い、根の発生を促します。また、かん水不足による乾燥は葉の展開の遅れ、葉面積の低下、果実の小玉化を招きますので注意しましょう。畝は絶対に乾かさず、適度な土壌水分量を保ってください。

水稻

●防除

最終防除として中生・晩生品種では8月下旬～9月上中旬に栽培暦に従い、いもち病・ウンカ類・コブノメイガなどの防除をします。



●収穫適期

米作りも仕上げ段階になります。一般的に、早刈りすると青米や未熟米が多くなり、食味・品質・収量ともに低下します。逆に刈り遅れた場合は、玄米の光沢が失われ、胴割米が多くなり品質が低下します。

収穫適期の目安は、出穂後日数で早生種35日前後、中生種40日前後、晩生種45日前後です。

さらに正確に適期を知るには、少しでも緑色を呈している籾(帯緑籾)の割合から判断する方法があります。生育が平均的な株を調べ、稔実籾中の帯緑籾の割合が5～10%の時が収穫適期となります。また、帯緑籾が半減する日数は、8～9月中旬でおおよそ5日間、9月下旬以降でおおよそ7日間が目安です。





遠山由美の

こだわり♪ レ・シ・ン・ピ



3ページ
QRコードで
チェック



冷やし夏野菜おでん

～梅干しの風味を生かしたダシでさっぱり、ひんやり!～

材料 2人分

おでんのつゆ

梅干し……………6個
水……………500ml
おでん昆布……………4個
ニンニク……………2片
ショウガ……………少々
酒……………大さじ2杯
砂糖……………大さじ1.5杯
オイスターソース……………大さじ1杯
粉ゼラチン……………10g

おでんの具材

鶏手羽中……………8本
シメジ……………1株
トマト(中玉)……………2個
オクラ……………2本
パプリカ……………1/2個
ミョウガ……………1個
ナス……………1個
ズッキーニ……………5cm
ちくわ……………2本
豆腐……………100g

昆布茶……………少々
砂糖……………少々

下ごしらえ・準備

1. 野菜を冷凍しておく

シメジは石づきを取り、2～3本ずつにほぐす。トマトはヘタと芯をくり抜き、皮に十文字の浅い切り込みを入れる。オクラは粗塩でこすり洗いをし、なり口を切り、ガクの周囲を薄く削る。パプリカは縦4つに切る。これらを野菜ごとにラップで包み、1日以上冷凍しておく。この他、生で食べられる野菜、アクやデンプンの少ない野菜が冷凍に向く。

2. 具材を準備する

ミョウガは、半分に切る。ナスはヘタを取り、空気を追い出しながらラップでぴったりと包む。電子レンジで2分加熱し、すぐにラップごと冷水にとる。優しく押し、中の熱い水分を押し出す。水を換えながら完全に冷まし、縦半分に切り、昆布茶と砂糖を同量ずつ混ぜたもの少々を果肉にふり馴染ませる。ズッキーニは縦6等分に切り、ラップで包んでレンジで1分加熱する。ちくわは斜め半分に切る。豆腐は食べやすい大きさに切り分ける。

作り方

1. おでんのつゆを作る

鍋に水を入れ、昆布をつけておく。鶏手羽中は粗塩でこすり、洗って水気をふく。ニンニクは薄皮をむく。ショウガは薄切りにする。粉ゼラチン以外のつゆの材料をすべて鍋に入れ、沸騰させる。中火に落として鶏手羽中を加え、再沸騰したら弱火にしてアクをひく。フタをして弱火でコトコト20分煮る。

2. つゆにゼラチンを加える

フタをとり、再び強火にして沸騰直前まで煮汁の温度を上げる。火からおろし、煮汁の温度が80度以上ある状態で、粉ゼラチンを振り入れ、よく混ぜ溶かす(煮立たせると固まらなくなるので注意する)。

3. 具材を加えて、冷やす

シメジを加えて具材を片寄せ、空いたスペースにトマトを加え、皮がむけてきたらとる。オクラ、パプリカ、ミョウガを加え、全体を優しく混ぜる。ズッキーニも加え、冷蔵庫でつゆが固まるまで冷やす。

4. 盛り付ける

冷蔵庫から出し、ナス、ちくわ、豆腐とともに器に盛り付ける。

POINT

野菜は好きなもの、冷蔵庫にあるものでOK。冷凍せずに、煮汁と一緒に煮ても構いません。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ
NR、食育プロデューサー
他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

旬のまめ知識



梅干し

脳卒中や心筋梗塞など命に関わる病気を引き起こす高血圧。塩分の摂り過ぎはその大きなリスクです。受診が強く勧められる「高血圧」の基準値は140/90mmHg以上で変わりませんが、この春設定されたのが「130/80未満」という降圧目標値。4,300万人の高血圧患者さんに加え、この数値を超えた「高血圧予備軍」さんも意識しなければならないのが減塩です。梅干しなど「うま味や風味・酸味のあるおいしい塩分」を上手に使いましょう。

協同が輝く時代

組合員・地域住民の皆さまの農業所得向上とくらしの豊かさの実現のため、当J Aが取り組む活動を取り上げます。



アンテナショップきらりでは、昨年度地元スーパーマーケット店内に独立した売り場を設ける「インショップ」を2カ所オープンし、清水産農産物などを販売しています。

農家とともに、農家所得向上を目指すアンテナショップきらり
 2017年度からスタートした当J Aの3か年計画では「農家組合員の農業所得向上」を最優先に位置付けています。アンテナショップきらりは、農家組合員の声を反映し、これまでさまざまな取り組みを展開しています。

市場外流通の強化で農家所得向上

当J Aはアンテナショップきらりを軸に、共販農産物などを直接買い取り、店頭販売のほか、スーパーマーケットや学校給食、インターネット販売などの市場外流通を強化しています。

2017年度の農産物買い取り販売実績は1億9341万円、作物別の買い取り金額から市場平均単価を引いて



季節ごとに開くきらりのイベントには、多くの来場者が訪れにぎわいます。

算出した農家所得向上額は2360万円。2018年度はネット販売をさらに強化したほか、プラムやイチゴの少量パックの開発、学校給食への供給強化、きらりを中心としたイベントなどを定期的に開催し、農家や消費者に喜ばれるJ Aを目指しています。職員自らが農家のために何ができるか知恵を絞り、農家所得向上に取り組んだ結果、農産物買い取り販売実績は2億180万円、農家所得向上額は3430万円と年々増加しています。

さらなる買取販売拡大を目指して

当J Aは今年度、農家所得向上と子どもたちを応援する仕組み「しみずみらい応援団」を発足しました。対象商品は、J Aが生産者から買い取った農産物など、きらりの店頭やネット上で販売するお茶や農産品などで、売り上げの一部を、非営利団体「あしなが育英会」に寄付するプロジェクトです。継続的に寄付できる仕組みにしたのは、全国でも珍しい事例です。

また、当J Aのホームページに特設ページを新設し、メールマガジン会員

を募り、対象商品の情報を発信しています。対象商品購入者を「応援団員」と名付け、ロゴステッカーを配布し、取り組みを広く周知しています。

農家所得向上を最優先課題として取り組んでいる買い取り販売は、中間マーゲンが発生しないため、農家から市場価格より高値で買い取り、消費者には小売店よりも安価に提供することができます。

今後もさまざまなアイデアと実行力で農家所得向上に努めます。



J A広報課と連携し、テレビや新聞、ラジオなどメディア露出の増加によるパブリシティ活動の拡大、フェイスブックなどを活用したネット上での情報発信にも力を入れています。特に、昨年度は清水産イチゴやミカンの果肉を丸ごと凍らせて作る高級かき氷がネット上の口コミで爆発的にヒットし、本年度も7月のスタート直後から多くの来店者でにぎわっています。



アーカイブ
しみず

わが町、清水 歴史写真館



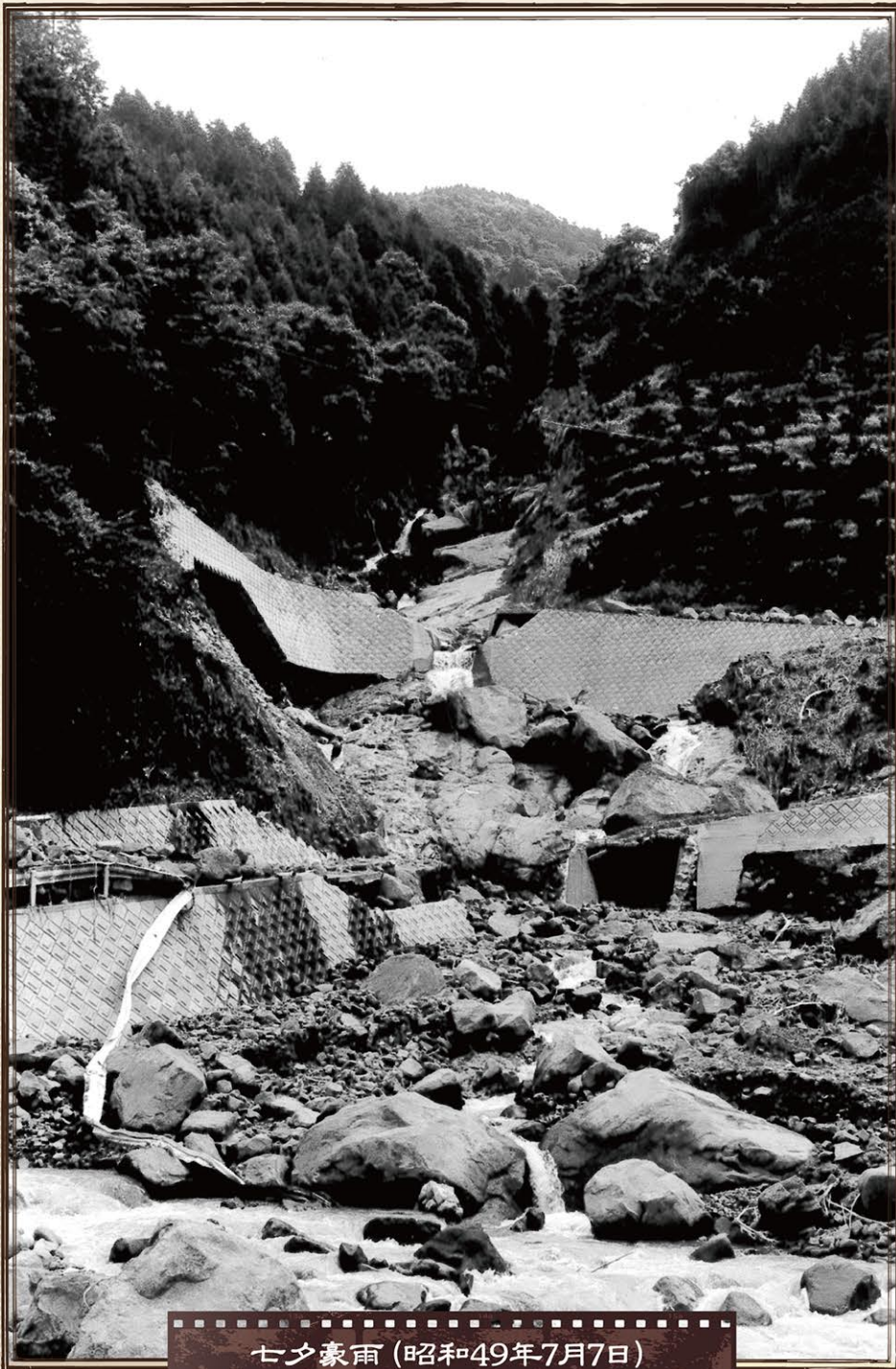
清水の歴史を
貴重な資料で振り返る

[archive-11]



このコーナーでは、清水区内の昔懐かしい風景や行事、建物などの古い写真を随時募集します。

珍しい古い写真をお持ちの方は、広報課(TEL367-3221)までぜひご一報ください。



七夕豪雨(昭和49年7月7日)

資料: JALしみず所蔵写真より

こ
近年、全国各地で大地震や集中豪雨など大きな自然被害が多くなっています。当J管内の自然災害で忘れてならないのが1974年(昭和49年)7月7日に遭った「七夕豪雨」です。
当時、清水市を襲った豪雨は1時間に100ミリを超え、市内の多くの河川が氾濫し、堤防が決壊しました。
住宅地の被害も甚大でしたが、農地の流失や埋没も多く、宮加三地区では、ミカン園の被害が約8ヘクタールもありました。

この写真は、広瀬地区から茂畑地区に向かう途中の農道入り口付近です。沢が氾濫し、農道が土砂で流されてしまいました。農道の沿線にはミカン園地が多くあり、農道の復旧が終わるまで車両の通行ができず、管理ができない状態になりました。
被害の様子は、当時の広報誌「農協しみず」に紹介されています。農地被害72ヘクタール以上、総額27億円など、大きく掲載されています。
七夕豪雨以後、管内全域に及ぶような自然災害には遭っていませんが安心はできません。これから台風シーズンになるだけに、自然災害に備えたいものです。

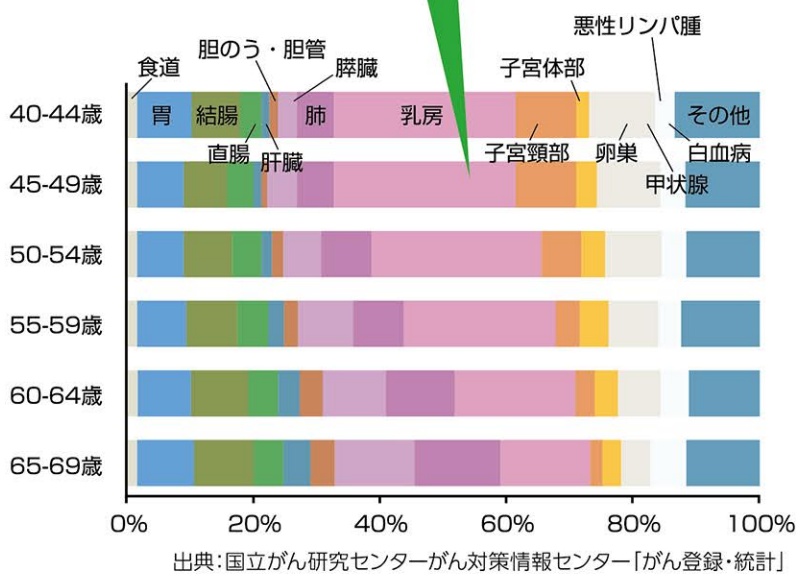
今月は乳がん検診をご紹介します!



乳がんにかかる人は近年増加傾向にあり、女性に見つかるがんの中では最も多いです。乳がんは乳房にしこりとして触れて見つかることが多く、定期的な検診をしっかりと受けて、早期発見をすることが大切です。

年齢部位別がん死亡率割合 (40歳～69歳・女性) [2017年]

乳がんにも最もかかりやすいのは40代で、死亡原因としてもトップですが、早期であれば約90%の人が治癒します。



マンモグラフィーは、乳房を左右片方ずつはさんで撮影するX線検査で、微小な早期のがんの発見に役立ちます。乳房を圧迫するので少し痛みをともなうこともありますが、撮影時間は5～6分程度です。

清水厚生病院の外科では乳腺外来も行っておりますので、精密検査の方・症状のある方はご相談ください。

JA静岡厚生連 清水厚生病院 健康管理センター

TEL : 054-366-3769 (直通)
FAX : 054-366-3407

- ☆ドック、健康診断はすべて予約制となっております。予約をご希望の方は、お電話または直接ご来院ください。
- ☆JA組合員の方は、ドックに組合員料金がございますので、お気軽にお問い合わせください。
- ☆共済ドックは、JAよりご案内しておりますので、ご利用ください。

FLASH NEWS

ラッピングトラック第7弾が完成!

オリジナルキャラクターを描いたラッピングトラックが7月4日に完成しました。第7弾となった今回は、三保の松原を背景に、ミカン、折戸なす、トマト、洋花、イチゴなどを描き、県内外へ清水産の農産物をPRしています。



『茶摘み体験で清水のお茶を学習』

静岡県立清水特別支援学校中学部3年生は6月25日、梅島土地改良区にある白鳥安章さんの茶園で茶摘みを体験しました。生徒たちは「本物の茶の葉を摘むのは初めてで楽しかった。自宅に帰って家族に自慢したい」と目を輝かせていました。



店舗統合のお知らせ

長崎支店は、有度支店へ統合いたします

長崎支店は9月13日(金)の営業終了をもって、有度支店へ統合いたします。長年のご愛顧誠にありがとうございました。なお、ATMはそのまま配置いたしますので、引き続きご利用いただけます。皆さまにはご迷惑をお掛けいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

長崎支店 9月13日(金)営業終了

静岡市清水区長崎471-1 TEL:054-345-4036

- ATMは、引き続きご利用いただけます。
ただし、9月13日(金)15:00~9月17日(火)9:00までは
休止となります。

統合後もどうぞ
よろしくお願いいたします

統合後

有度支店

静岡市清水区渋川284-4 TEL:054-345-4136



農作業時のお願い

農作業移動時は安全確認を
徹底しましょう!

防除用タンクを乗せた軽トラックがホースを引きずったまま一般道を走行し、登校中の小学生にホースが当たって児童が負傷する事故が管内で発生しました。

作業終了後の片付けも、確認不足は人身事故につながる危険性があると認識し、機材を載せて車両を運転する際は、荷崩れやはみ出しが起こらないよう、確認を徹底してください。



荷崩れやはみ出しが起
こらないよう、注意し
ましょう!!

名称変更のお知らせ

「JAメモリアル」から
「メモリアル清水」へ

JAしみず葬祭事業「JAメモリアル」は、令和元年10月1日より「メモリアル清水」に改名いたします。

お亡くなりになった方をお送りする最後のセレモニーを、ご葬家のお気持ちに寄り添い、親切、丁寧に。JA葬祭として組合員の皆さまはもちろん、広く地域の皆さまに「メモリアル清水」をご利用いただけるよう、気持ちを新たに組み立てまいります。

10月1日以降の新名称

メモリアル清水

お問い合わせ

JAメモリアル TEL 0120-673-101

理事会だより

議事 ▼

定例理事会6月25日(火)

- 固定資産の賃借について
- 固定資産の取得について
- 夏期賞与の支給について

後編
編集
記集

季節の移り変わりは早いもので、セミの声で目覚める8月。わが家の子どもたちも夏休みに入り、夏を楽しんでいるようです。夏といえば、今月号で紹介したアンテナショップきらりの「高級かき氷」。今年もテレビなどで取り上げられていますが、口の中に入れた瞬間の感動は忘れられません。ぜひお試しください。(蒲生)

子どもが保育園に行き始めてから、しょっちゅう風邪をもらってきます。幸い、熱が出ることは少ないものの、その度にうつされ、年齢のせい、ウイルスがしつこいのか、なかなか治りません(泣)。手洗い、うがいを始め、しっかりと食べて栄養補給!夏を元気に乗り切りたいと思います。(杉山)

ワンパワ みずっ子

大好きな水遊びだっ♪レッツゴー♪



シャワー
だよ!



水でっぼう
楽しい!!



プール
気持ちいい!



みどりが丘こども園
(清水区日立町)

0~5歳児まで183人が通うみどりが丘こども園。
今日はみんなと一緒にプールで遊びました!
園庭にスプリンクラーも登場して、
とても楽しかったね★



スプリンクラーで水遊び気持ちいいわ!



プール遊びは楽しいね♪上手に泳げるかな?



浮き輪で
ゆらゆら



こんにちは!



みんな
仲良しだよ



乳児さんは、仲良くお部屋遊び!



出演募集
このコーナーでは、ご出演いただける清水区内のこども園や保育園、幼稚園を募集しています。詳しくは左記のJA広報課まで!

